
事業報告書

ANNUAL REPORT

平成21年度 '09. 4~'10. 3

社団法人 中部産業連盟

平成21年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 事業活動実績の総括	1
II. 分野別事業活動	
1. 国内コンサルティング事業活動	3
2. 研究開発事業活動	6
3. 国際協力事業活動	9
4. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動	11
5. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動	13
6. 国際標準規格 I S O 関係事業活動	14
7. P マーク 審査・研修事業活動	15
8. 情報セキュリティ監査事業活動	16
9. 日本経営管理標準 (J M S) 推進事業活動	16
10. メンタルヘルス事業活動	20
11. トヨタ流改善支援事業活動	21
12. マネジメント貢献事業活動	22
13. マネジメント研修事業活動	24
14. 会員事業活動	27
15. 役・職員の対外的協力活動	33
III. 業務報告	
1. 会 勢	35
2. 会 議	35
3. 庶 務	37
4. 協力活動	38

I. 事業活動実績の総括（平成21.4～平成22.3）

1. リーマン・ショックに端を発した経済混迷脱出から、産業界あがての新生への模索に転じた日本経済

景気後退局面は、平成22年3月に底を打ったと見られる。リーマン・ショックから一年、基軸通貨であるドルを支える米国政府、FRB（連邦準備制度理事会）は、信用収縮という民間金融仲介機能のマヒに対処するため、市場に大量の資金を供給し続けた。その結果、金融不安は落ち着き、世界経済は何とか持ちこたえた年であった。

その影響も受け、日本経済は2009年度実質経済成長率がマイナス2.6%にとどまる見込みであるが、生産の持ち直しから景況感も好転した。しかし、依然として売上水準は低く雇用や設備の過剰感が強いことから企業の経営環境はきびしい状況が続く一年でもあった。

このことを、景気の先行指標である株価の推移を大納会の日経平均終値で見ると、2007年は15,307円、2008年は8,859円と大暴落したが、2009年は10,546円にもどした。一方、貿易に大きく影響を与える対ドル為替相場は、2007年12月113.12円、2008年90.28円、そして2009年12月93.10円であった。景気上昇の先行する米国経済は、実態経済に近づいた消費動向に転換していくであろう。

雇用面から見ると、失業率は、7月には、5.7%と過去最悪を更新した。失業者数は359万人で雇用情勢は、一段と厳しさを増した。本格的なデフレ経済の中にあって、売上の伸び悩み、雇用の不安定化で今期の本格的な経済の立ち直りは見られなかった。

しかし、一方で金融危機後の日本企業は、海外市場開拓は活発化している。政府の施策としてFTA（自由貿易協定）やEPA（経済連携協定）を迅速に進め、企業のグローバル戦略展開のための環境づくりが望まれるところである。

世界同時不況下では、企業の新しい成長戦略が求められており、イノベーションを加速させ、環境、資源エネルギー、情報、自動車、農業、医療、教育などの取り組みが必要である。また政府は中小企業に対し企業体力の強化につながる人材育成支援や販路拡大のための支援を強化すべきである。

今期において、以上の重要課題への早急な取り組みの芽がめばえ、個々の企業が新しい時代の幕開けに向け動き出している。

2. 平成21年度における事業活動の実績

本年産業界がリーマン・ショックの激震の影響を受けた状況下で人材育成、研修の中断、改善活動の見直しなどを行ったため当連盟はきびしい状況であった。

そうした中で事業再生のための経営計画策定と推進、資金繰計画、設備投資の再計画など、会員企業や産業界のニーズに応え、事業活動を推進した。

また、個別企業のニーズに対して、コンサルティング活動による革新的なコストダウン、企業付加価値の向上、生産・販売の海外シフトの促進、新マネジメント・システム構築への取り組み、人材育成のための公開研修、研究会、現場研修、企業内教育、課題別研究会、講演会、ISO、Pマークなど国際標準化のための審査認定、日本経営管理標準（JMS）の実践的推進、特に各社の事例をまとめた「マネジャーの“行動”実践ヒント集」の刊行、目で見える管理（Visual Management）の実践指導、国際支援事業として、JICA、AOTSを通じた海外研修生の受入研修、専門家派遣及び会員企業に対する情報提供など多様な産業界への支援活動を実施した。

本年度、当連盟が実施した事業は、次の通りである。

Ⅱ. 分野別事業活動

1. 国内コンサルティング事業活動

- (1) 本部（名古屋）153社、東京本部118社、長野コンサルティング事業部16社に対してコンサルティング、教育研修を実施
- (2) 62の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育研修を実施

受注先	本部	東京	長野	総計(件)
会員企業ならびに非会員企業	153	118	16	287
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルティング・調査)	62			

(研究部)

「戦略マネジメント力の向上支援」「製造業の競争力強化支援」の2つの領域について、コンサルティングおよび研修をとおして産業界への普及を推進

- (1) 戦略マネジメント力の向上支援
 - 1) 上級管理職育成プログラム（年間プログラム5社、短期コース2社）
 - 2) ビジネス・コーチング（1社）
 - 3) マーケティング、営業力向上プログラム（4社）
 - 4) 事業戦略、マーケティング分野を対象としたコンサルティング（2社）
- (2) 製造業の競争力強化支援
 - 1) ものづくり現場の全社的改善・改革活動の支援（50社）
 - 2) 順序化・流れ化・見える化手法による、個別受注製造・サービス業の支援（2社）

(企画開発部)

コンサルティング重点テーマ

- (1) 減速経済下での生き残りをかけた工場再活性化支援コンサルティング（24社）
- (2) トヨタ生産方式の支援コンサルティング（57社）
- (3) 付加価値生産性からのアプローチによる次世代モノづくり改革（6社）

(人事・組織開発事業部)

各種の教育・訓練から関連する人事諸制度策定・改定に関するコンサルティング、調査・報告を推進

- (1) コンサルティング
 - 1) 各種の経営改善・体質強化・活性化に関するコンサルティング（7社）
 - 2) グローバル人材育成プログラムに関するコンサルティング（2社）
 - 3) 業績・実績対応型賃金制度への転換や評価制度見直しのためのコンサルティング（3社）
- (2) 企業内研修
 - 1) 管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修（4社）
 - 2) 各種の階層別あるいは機能別研修会（28社・団体）

- 3) メンタルヘルスやコンプライアンス等の新しいテーマの教育訓練 (5社・団体)
- 4) 目標管理導入と評価者訓練 (5社・団体)

(3) 調査・報告

- 1) 目標管理制度の定着を確認する調査・報告 (2件)
- 2) 技術移転コーディネータに関する調査・報告 (1件)
- 3) その他 (2件)

(生産革新事業部)

生産・物流・品質・原価・新製品開発・I S M S等に関するコンサルティングおよび企業内研修を実施

(1) トヨタ式ものづくり改善コンサルティング (1グループ 40社)

トヨタ生産方式によるものづくり改善・改革コンサルティングで自動車関連の協力会や部品メーカー、また自動車以外の業種にも支援

(2) 生産革新プログラム「儲かる工場作り」コンサルティング (10社)

トヨタ生産方式とTQCをベースとしたモノづくり改善プログラムで、具体的な現場改善を通してモノづくり、人づくり改革を支援

(3) モノづくり改善支援コンサルティング (14社)

5S・VM中心に全員を巻き込んだモノづくりの基本整備からの改善プログラム

(4) 工場再活性化支援プログラム (9社)

銀行や親企業とタイアップして経営診断・モノづくり診断を行い、その結果を踏まえて、経営面とモノづくりの両面から工場の再活性化を支援

(5) 匠工場のモノづくり、人づくりコンサルティング (6社)

技術の特徴とする30~50人規模の匠工場に対するモノづくり・人づくり支援プログラムで、「強み」の技術を伸ばし、どちらかというと「弱い」管理面をサポートして工場体質の強化を支援

(6) 内部統制・リスクマネジメントのコンサルティング (3社)

中堅企業を中心に内部統制・リスクマネジメントの支援コンサルティングを展開

(7) I S M S 支援コンサルティング (9社)

中堅企業を中心にI S M S構築の支援コンサルティングを展開

(8) 企業内研修 (63プロジェクト)

管理職から中堅・新入社員研修までの全社的階層研修、生産現場の改善研修、品質研修、5S/VM研修等を実施

(経営革新事業部)

(1) 【60Bank】プロジェクト (4社6件)

コンサルティング導入の際、経営課題の改善に取り組むためのノウハウと人員不足のため改善活動がままならない中堅・中小企業の悩みと、豊富な経験・ノウハウを持ったOB人材の活躍の場の未整備を同時に解消すべく立ち上げたプロジェクト

(2) 【中小企業診断士登録養成課程】プロジェクト (受講生15名)

中小企業診断士を養成する機関として、平成20年2月29日に正式認可。本年度は第2期として、平成

21年3月10日に開講。15名が受講し、全員修了した。

(3) コンサルティング

- ・体質強化支援
- ・後継者育成支援
- ・経営基盤強化支援

(4) 企業内研修テーマ

- ・中堅社員研修
- ・監督者研修
- ・管理職研修
- ・次世代リーダー養成研修
- ・中長期経営計画策定研修

(第六コンサルティング部)

銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティング（及び研修）の企画、また、金融・財務ソリューションの提供を主目的とし、経営層へのアプローチを可能とするコンサルティングを実施

(1) コンサルティング

1) 「経営総合診断」を切り口とした、個別コンサルティング（7件）

営業力強化コンサルティング、戦略市場計画の策定・業務改善、体質強化支援、後継者育成支援、中長期経営計画策定、物流子会社競争力調査、経営基盤強化支援コンサルティング、人事制度設計コンサルティング

2) 「生産現場簡易診断」を切り口とした、個別コンサルティング（24件）

儲かる工場づくり、事業デューデリジェンス及び収益改善、品質改善コンサルティング、在庫削減、現場改善コンサルティング、生産現場コンサルティング、生産管理体制改革、改善活動推進コンサルティング、工場移転支援コンサルティング、モノ造り改革プロジェクト支援

3) 金融・財務・再生関連コンサルティング（10件）

M&A検討プロジェクト支援、事業調査報告書作成及び再生計画策定支援、経営サポートプロジェクト、現場診断及び再生計画策定支援、事業調査報告書作成及び経営基盤強化計画策定支援、事業進捗モニタリング

4) 官需対応のコンサルティング（2件）

コロンビアにおける中小零細企業育成、長野県における健康観光の振興

(2) セミナー、講演会等（20件）

企画管理職研修（製造業の思想・考え方に学ぶ、業務および事務プロセスの最適化）、経営者のための資金繰り講座ほか

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞状況

1) 第61回 全国能率大会

第Ⅱ部 平成21年8月26日（於：東京都）において、当連盟職員が研究論文を発表した。

発表論文（第61回大会発表論文）

- ・新しい経営診断ツール「MVP指標」の開発

～戦略と管理の改善・革新を誘発する指標とその実証事例～

コンサルタント 加藤久仁明

- ・VM（Visual Management）による設計・開発部門の業務効率化

コンサルタント 佐藤 直樹

- ・WIN-WIN型再生コンサルティングの実践

コンサルタント 津田 隆典

- ・組織変革期における「活創人材」の育成

～中小企業の事例を通じて～

コンサルタント 橋本 豊

- ・MIP（Management by Intelligent Process）による危機突破マネジメントの提案

プロジェクトマネジャー 花井 康孝

- ・VM手法によるメンバー参画型チームマネジメント

～プレーイングマネージャ、経験・力量不足の管理者のマネジメントを根本から変える！～

コンサルタント 原 裕二

2) その他

- ・第34回工業技術研究大会（平成21年6月18日）

特別講演「『いま、ものづくり企業にとって何が必要か』—中部地区の企業家の志から学ぶ—」

副会長 竹内 弘之

- ・平成21年度環境経営学会研究報告大会報告論文（平成21年6月6日）

「ISO14001認証取得組織の実態調査による有効な環境影響評価の研究」

上席主任コンサルタント 梶川 達也

(2) 平成21年度 全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 山内 昌彦

表彰牌 加藤 唯、加藤 吉行、岡本 和博

(3) 専門書、専門誌、テレビ出演などの活動

- ・「持論・時論」中部経済新聞社

“今、日本的を考える”

（平成21年 9月 7日）

“再び、日本的を考える”

（平成21年10月26日）

“華と力ある次代経営者”

（平成21年12月21日）

“アジア経済拡大と共生”

（平成22年 2月15日）

“未来を描く海外・旅の思索”

（平成22年 3月29日）

竹内 弘之

- ・「工場管理」日刊工業新聞社
“工場全部門のVM 見える化によるコストダウン活動の進め方”
小坂 信之 (平成21年6月号)
 - ・「ザッツ営業」日本実業出版社
“ズバリこんな悩みにお答えします”
福山 穰 (平成21年夏号)
 - ・「V-MAP Success Stories」独国際協力機構 (JICA)
古橋 武之 (平成21年9月)
 - ・「人と組織を動かすカリスマな質問力」日刊工業新聞社
横山 太郎 (平成21年9月)
 - ・「環境取引通信」(株)日本環境取引機構
特別寄稿“メキシコと日本をつなぐCDM”
梶川 達也 (平成21年10月25日第12号)
 - ・「環境取引通信」(株)日本環境取引機構
エッセイ“日本のノウハウを海外で活用するCDMを!”
梶川 達也 (平成22年1月25日第15号)
 - ・「^{エイ-コミック}A-KOMIK・日々管理で防ぐ人為ミス」日科技連出版社
中山 賢一、富澤 祐子 (平成22年3月)
 - ・「ISOマネジメント」日刊工業新聞社
“VM (見える経営) によるISOマネジメントシステムの革新”
小林 啓子 (平成22年3月号)
 - ・「人と組織を育てるリーダーの質問術17手—アクションラーニングとその効果」日刊工業新聞社
横山 太郎 (平成22年3月)
 - ・「りそな一れ」りそな総合研究所
“中堅・中小企業のみドル対策—みドルを核とする協働の職場づくり”
福山 穰 (平成22年3月号)
- (4) 中産連マネジメント大会
当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発したマネジメントノウハウをとりまとめ、名古屋・東京で発表
- 1) 第22回マネジメント大会開催 (名古屋)
開催日：平成21年11月18日(水)
会場：名古屋東急ホテル
大会テーマ：～今日に学び、明日の道を切り拓く～
参加人数：745名 (第1部会 426名 第2部会 319名)

発表テーマと発表者：

記念講演「今回の不況とわが社の対応」

イビデン(株) 取締役会長

(株)中部産業連盟 副会長 岩田 義文

・第1部会

「トヨタ式ものづくり改善」リーダー育成のための実践的教育・訓練

主任コンサルタント 三木 素直

主任コンサルタント 中井 芳美

主席コンサルタント 古橋 武之

^{エイ}_コ^ミ_{ック}
A-K O M I Kで回す日々管理

～現場リーダーのためのA-K O M I K訓練プログラム～

コンサルタント 富澤 祐子

・第2部会

VM（目で見る経営）による管理・間接部門の改革

主幹コンサルタント 五十嵐 瞭

主任コンサルタント 畑澤 馨

激動の時代に対応する次世代人事システム

主任コンサルタント 石原 聖治

主任コンサルタント 柘植 吉則

コンサルタント 橋本 豊

2) 第16回東京マネジメント大会

開催日：平成21年10月19日(月)

会場：アルカディア市ヶ谷

大会テーマ：「成果に直結する改善・改革活動を！」

参加人数：106名

発表テーマと発表者：

「VMと経営機能・業務分析を連動させた、管理・間接業務の改革」

主席コンサルタント 小坂 信之

「収益性改善の見える化を実現するVMの進め方」

上席主任コンサルタント 小林 啓子

「生産性向上による省人化⇒活人化」

主任コンサルタント 山口 郁睦

事例発表「全部門5S・VMによる生産改革・経営革新の実現」

～情報機器メーカーにおける、製造部門及び営業・開発を含む管理・間接部門のVM事例～

(株)日立コンピュータテクノロジー&マニュファクチャリング

取締役 小松原保幸 氏

エグゼクティブマネージャ 田中 清文 氏

3. 国際協力事業活動

(国際研修事業部)

海外でコンサルティングや研修を実施するものと、国内で外国人研修員を受入れ研修するものに大別されるが、本年度は前者が大幅に増加した。

(1) 海外での活動

1) 友誼団体が海外で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	日数
管理者としての基礎	AOTS	フィリピン	平成21年6月15日～19日	4日
High Mix Low Volume Manufacturing	APO	シンガポール	平成21年8月17日～26日	8日
リーダーシップ養成	AOTS	インドネシア	平成21年11月9日～13日	4日
Lean Six Sigma for the Service Sector	AOTS	タイ	平成21年10月27日～30日	4日
専門家報告に対する提言、現場個別指導	AOTS	ベトナム、モンゴル、フィリピン、中国、マレーシア、インドネシア、インド、スリランカ、メキシコ、バングラディッシュ、ブラジル	平成21年10月12日～平成22年2月11日	77日 (全18回)
・日墨における地球温暖化への取り組み ・エコビジネスにおけるビジネスチャンス	メキシコ国立自治大学 (UNAM) ビジネススクール	メキシコ	平成21年9月21日～22日	2日

2) 海外への専門家派遣

名称	契約先	派遣国	期間	日数
クラスター経営者向け経営研修に係る現地での基礎情報収集・確認調査および現地調査	JICA	ケニア	平成22年1月17日～3月7日	50日
コロンビア・有償資金協力専門家派遣（中小零細企業育成）	JICA	コロンビア	平成22年1月21日～4月18日	88日

(2) 国内での活動

1) 国内の受託事業

JICAから4コースを受託し実施

コース名	期間	研修員数	研修員
「日墨交流計画 全社品質・生産性向上研修」コース	平成21年5月8日～10月8日	9名	若手企業人
「中南米地域起業・新規事業支援」コース	平成21年10月19日～12月11日	7名	行政関係者
コロンビア「品質管理・改善」コース	平成21年11月16日～11月27日	17名	若手企業人・行政関係者
「メルコスール地域における中小企業の経営・生産性向上」コース	平成22年1月27日～3月12日	11名	行政関係者

2) 友誼団体が国内で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	件数
各種経営管理研修コース	AOTS	3件
職業訓練指導員養成プロジェクト管理者マスタートレーナー研修	OVTA	1件
Training Course for distance learning via Video conference "Marketing"	世界銀行	1件

3) 海外企業から委託された国内でのコンサルティングの実施

コース名	海外企業	期間	件数
Lean Six Sigma program	シンガポールA社	平成21年4月24日	1件

4) 公開研修

セミナー名	期間	日数
経営幹部・次世代リーダーのための「日英対訳で学ぶドラッカー」	平成21年2月18日～9月9日	8日（本年度6日）
海外現地法人で活かす「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」	平成21年11月11日	1日
米国ノートルダム大学/中産連共同企画 第13回 「エグゼクティブ短期特別プログラム」	事前研修：平成21年1月～5月 現地研修：平成21年6月4日～25日	5日（本年度3日） 22日（米国）
「MBAの英語特別プログラム」	平成21年1月17日～5月23日	18日（本年度7日）

(研究部)

産業界のグローバル展開に貢献する事業を積極的に推進。経済連携協定（EPA）等にもとづく経済・産業協力事業に会員企業と共に参画し、当地区に長年にわたって蓄積されてきた「ものづくり」の考え・価値観が企業経営における世界共通の土台となるよう、現地への専門家派遣と、日本での研修を組み合わせ、効果の高い事業を展開。

(1) 「ものづくりのリーダー育成」支援事業：インド

日本 - インド グローバルパートナーシップ計画の一環として、インド政府が推進する産官学連携事業：製造業のリーダー育成事業、英文名V L F M（Visionary Leaders For Manufacturing）事業に協力し、現地への専門家派遣と、本邦研修の受け入れを実施

コース名	実施機関	実施国	研修員	期間	日数
製造業経営幹部育成コース（本邦研修）	JICA	日本	A：40名	平成21年5月27日～28日	2日
製造業経営幹部育成コース	JICA	インド	A：52名 B：30名	平成21年9月12日～10月1日	11日
製造業経営幹部育成コース	JICA	インド	A：52名 D：28社	平成22年2月15日～26日	7日
製造業経営幹部育成コース	JICA	インド	D：28社	平成22年3月26日～4月10日	8日

* A：経営幹部コース、B：若手幹部候補生コース、D：中小製造業育成コース

(2) 「現場改善推進リーダー育成」支援事業：南アフリカ

南アフリカの経営大学院と連携し、産業界の改善推進リーダーを育成する事業として、現地ワークショップへの専門家派遣を実施

コース名	実施機関	実施国	研修員	期間	日数
現場の問題解決・改善技法	AOTS	南アフリカ	31名	平成21年7月23日～8月3日	5日

(3) 自動車部品製造業の改善リーダー育成支援事業：マレーシア

日本－マレーシア産業協力（MAJAI CO）の一環として、現地企業のリーダーを育成する事業（Cプロジェクト）に当地区産業界と共に参画し、日本へ招聘して研修を行う事業を実施、また現地でのセミナーに専門家を派遣

コース名	実施機関	実施国	研修員	期間	日数
マレーシア自動車部品製造業競争力強化研修コース現地セミナー	テンプスタッフ	マレーシア	20名	平成22年1月12日～1月16日	3日
マレーシア自動車部品製造業競争力強化研修コース	テンプスタッフ	日本	20名	平成22年2月1日～3月12日	30日

注) AOTS：(財)海外技術者研修協会
 OVTA：(財)海外職業訓練協会
 JICA：(独)国際協力機構
 APO：アジア生産性機構

4. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) コンサルティング事業

VM（Visual Management＝目で見える経営）活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム（FMS）の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・ファイリング・VMの推進、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、企業内教育体系の構築・整備、ISO9001と14001認証取得のための品質保証体制の確立など、128件のコンサルティングを実施

(2) マネジメント研修事業

1) 講演会

講演会	テーマ（内容）	開催日	開催場所	発表企業名	参加者数
VM／見える化事例発表大会	VMで経営を革新し、人を育て、全部門のコストダウンを実現した事例を紹介！	平成21年7月17日(金)	アルカディア市ヶ谷	(株)埼玉富士、厚生産業(株)、浪江日本ブレーキ(株)	160

2) 公開セミナー 56件実施

①生産・5S・VM関連（参加者累計217名）

・生産・事務現場／5S展開セミナー（2回）

- ・ 5Sレベルアップセミナー
 - ・ 事務所の5S・ファイリング推進セミナー（4回）
 - ・ 開発・設計の付加価値向上セミナー
 - ・ 生産現場の目で見える管理実践セミナー（2回）
 - ・ 生産管理改善実践手法習得セミナー
 - ・ VM活動による管理・間接部門の見える化セミナー（2回）
 - ・ 組織横断VM／見える化の進め方
 - ・ 基礎から学ぶ「カイゼン」の進め方
 - ・ 業務改革成功のノウハウとその進め方（2回）
 - ・ 「営業部門」のVM／見える化セミナー
 - ・ 生産現場改革による徹底したコストダウンの進め方
 - ・ コストダウンにつながる製造リードタイム短縮
 - ・ 「VM／見える化」経営の進め方
 - ・ 工場幹部のための「生産革新研究会」
- ② ISO関連（参加者累計108名）
- ・ ISO9001内部品質監査員養成セミナー（5回）
 - ・ ISO14001内部環境監査員養成コース（6回）
 - ・ ISO9001：2008対応とシステム効率化セミナー
 - ・ ISO“スリム化／統合化／VM（見える化）”で再生実現セミナー
- ③ 人事関連（参加者累計148名）
- ・ 人事考課力強化の進め方（3回）
 - ・ 変革リーダーシップ実現と社員の意識改革の進め方
 - ・ 力強いリーダーシップ人材を育てる
 - ・ 上司力向上のための部下指導育成スキル研修の進め方（2回）
 - ・ 人事考課者体験セミナー
 - ・ 真に効果が上がる！マネジメント研修の進め方（4回）
 - ・ 実戦！人事考課トレーニングセミナー
 - ・ 組織風土改革手法としてのアクションラーニング
 - ・ 管理職とその候補者の意識改革を実現する
 - ・ 活力ある組織文化を創造するアクションラーニングの進め方
- ④ その他（参加者累計114名）
- ・ オフィスの5S・VM見学会
 - ・ ㈱埼玉富士 見える化工場見学会
 - ・ ㈱埼玉富士 工場・オフィス見学会
 - ・ ㈱日立コンピュータテクノロジー&マニュファクチャリング 工場見学会
- (3) 企業内研修事業
- CAP（中産連アセスメントプログラム）による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、

アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、戦略マネジメント研修、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、若手・中堅自律型人材育成研修、OJT定着研修、コーチング研修、マネージャ養成研修、コミュニケーション力強化研修、職場力強化研修、ISO9001と14001認証取得のための内部品質監査員養成研修など数多くの企業内研修を実施

(4) 業務協力によるコンサルティングおよび研修活動

- 1) 静銀経営コンサルティング(株)、りそな総合研究所(株)、(株)ちばぎん総合研究所、(株)企業育成センター、(株)日本商工経済研究所、SMB Cコンサルティング(株)、みずほ総合研究所(株)と業務協力し、これら機関を通じて民間企業に対するコンサルティングと研修事業を受託し、共同で実施
- 2) 中小企業大学校、秋田県横手市役所、(財)群馬県産業支援機構などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対する研修とコンサルティング活動を実施し、人材の育成と企業の発展に協力した

(5) 中産連VM賞の授与

VM活動を推進して企業体質の革新を図られた企業・団体に中産連VM賞を授与

- ・中産連VM本賞 浪江日本ブレーキ(株) 平成21年5月19日
- ・中産連VM推進賞 (株)埼玉富士 平成21年4月23日

5. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(長野コンサルティング事業部)

(1) コンサルティング (10件)

品質改善、スキル評価と多能工化、変種変量生産のライン化、監督者の日々管理の仕組みづくり、3S・3定とムダ取り、納期遅れゼロ化、TPS指導、生産効率化などを実施

(2) 企業内研修 (参加者数390名)

中堅社員のためのPDCA研修、全社員対象の5Sとムダ取り研修、管理監督者のためのA-KOMIK研修、管理者のためのボカミス撲滅研修、製造部門対象の作業標準化と多能工化研修など、5講座を実施

(3) 講演会・研修会 (参加者数593名)

テ ー マ	開催日	対 象	講 師 名	参加者数
品質不良ゼロは私の責任	6月29日	上伊那産業振興会	中産連研究員 富澤 祐子	39
すべての仕事の基本は5Sにあり	7月23日 7月29日	長野県中小企業団体中央会	中産連主席コンサルタント 中山 賢一	60
経営力向上に役立つ5S	7月24日	長野県中小企業団体中央会	中産連研究員 富澤 祐子	150
安全な食品づくりの衛生管理基礎	9月28日	上伊那地域産業活性化協議会	(有)スコットマネジメント 取締役 井戸田 鎮氏	39
メンタルヘルスセミナー	11月18日	上伊那産業振興会	社会保険労務士 山本 道子氏	25
品質不良ゼロは私の責任	12月4日	松山(株)協力会	中産連主席コンサルタント 中山 賢一	150
品質不良ゼロのものづくり	12月15日 3月9日	長野県中小企業団体中央会	中産連主席コンサルタント 中山 賢一	90
お客様に頼りにされる現場づくりをしよう	1月23日	長野県紙器段ボール箱工業組合	中産連主席コンサルタント 中山 賢一	40

(4) 重点事業

ものづくり企業における製造現場の“要”である監督者クラスの日々管理力訓練と、広範な人脈づくりを目指して、監督者交流会（略称S F会）を4期（10社：27名）、5期（9社：25名）開催

開催日		研修内容
4期	第1回 4月22日	座学「監督者のあるべき姿」
	第2回 5月27日	工場実習 ㈱エヌ・イー エプソントヨコム㈱ アスザック㈱ ㈱高見沢サイバネティックス
	第3回 6月18日	
	第4回 7月16日	
	第5回 8月20日	
	第6回 9月15日	成果発表会
5期	第1回 10月23日	座学「監督者のあるべき姿」
	第2回 11月20日	工場実習 オリオン精工㈱
	第3回 12月17日	演習「標準作業組み合わせ票の作成」
	第4回 1月22日	工場実習 ㈱丸信製作所 日置電機㈱
	第5回 2月16日	
	第6回 3月16日	成果発表会

6. 国際標準規格ISO関係事業活動

(ISO事業部)

ISO9001/14001、27001、22000、26000、10002、9100、T S 16949、O H S A S 18001（国際標準規格）
関係活動事業

(1) コンサルティング・企業内訓練

ISO9001/14001、27001など認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに研修機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約50名が主任審査員、審査員ならびに審査員補（J R C A、C E A R 認定）の資格を有する。

これにより、135件のコンサルティング・企業内訓練の支援活動を実施。

- 1) ISO9001（品質）60件
- 2) ISO14001（環境）42件
- 3) O H S A S 18001（労働安全衛生マネジメントシステム）8件
- 4) ISO27001（情報セキュリティシステム）9件
- 5) ISO22000（食品安全マネジメントシステム）7件
- 6) ISO9100（航空宇宙品質マネジメントシステム）6件
- 7) その他（新製品開発、品質安全管理、VM）3件

(2) 公開研修

- 1) 延べ275回開催し、参加者数は2,456名（別表1参照）
- 2) ISO9001及びISO27001の審査員研修機関〔(財)日本規格協会（J R C A）から認定〕、14001の審査員研修機関（(財)産業環境管理協会（C E A R）から認定）として審査員研修を拡大し実施
ISO9001、ISO14001及びISO27001の3つのコースを認定されているのは、中部地区では、

唯一の機関

3) VDA〔ドイツ自動車工業会〕と提携し、TS16949審査員コースを開催

別表1 平成21年度 公開研修等

公 開 研 修	実施回数	延参加人数
ISO9001研修(含TS16949)	123	1,085
9001審査員コース(3日、5日間)	3	12
VDA TS16949監査員コース	1	3
ISO9001 (計)	127	1,100
ISO14001研修	94	959
環境スキルアップ講習会	6	39
環境現場見学会	4	42
14001審査員コース(3日、5日間)	5	29
欧州環境視察団(7/6~13)	1	6
ISO14001 (計)	110	1,075
ISO27001	9	35
Pマーク	4	42
ISO27001・Pマーク (計)	13	77
OHSAS18001研修	7	59
ISO22000(HACCP)研修	3	20
ISO9100(航空宇宙)研修	1	13
VM研修	2	21
ISO実践ポイントセミナー	12	91
その他 (計)	25	204
総 合 計	275回	2,456人

※第12回欧州環境視察団を平成21年7月6日~13日に実施。

(ドイツ、ロシア:6社6名参加:事務局を含め8名参加)

7. Pマーク審査・研修事業活動

(Pマーク審査センター)

(1) プライバシーマーク審査事業

1) 財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)から認定を受けたプライバシーマーク審査指定機関(認定コード:19)として、主として中部地区(愛知、岐阜、三重、石川、富山)の事業所のプライバシーマーク認証及び更新のための審査業務を行う中部地区唯一の審査指定機関、現在、約30名のPマーク主任審査員、審査員を擁す

2) 本年度の審査申請・受付件数:271件

(内訳:愛知県183件 岐阜県29件 三重県11件 静岡県3件 石川県28件

富山県8件 東京都5件 大阪府1件 京都府1件 兵庫県1件 福井県1件)

(審査センター開設後の審査申請・受付累計件数は956件、現在登録数は639件)

3) プライバシーマーク制度説明会に講師派遣

(J I P D E C、名古屋中小企業投資育成㈱、高山商工会議所ほか 4回、101名参加)

(2) プライバシーマーク研修事業

- 1) 平成21年7月にプライバシーマーク審査員研修機関(研修機関コード:19)としてJ I P D E Cより認定
- 2) 新規事業として、プライバシーマーク審査員研修・プライバシーマークフォローアップ研修等を実施
 - ・プライバシーマーク審査員研修 (3回 7名参加)
 - ・プライバシーマークフォローアップ研修 (名古屋、東京、大阪、福岡 で計5回 73名参加)

8. 情報セキュリティ監査事業活動

(情報セキュリティ監査センター)

J A S A (特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会)と業務協力し、主として中部地区において「情報セキュリティ監査制度」の普及啓発を行なうと共に、事業活動を実施

(1) 新規事業として、公認情報セキュリティ監査人(C A I S)養成研修を実施

- 1) J A S Aより平成21年4月、コース認可
- 2) 5日コース(2日コース+3日コース)を実施
 - (2日コース・3回開催・参加者合計12名、3日コース・3回開催・参加者合計10名)

(2) 情報セキュリティ監査制度普及のため、普及・その他セミナーを実施

(4回開催 参加者合計 40名)

(3) 情報セキュリティ監査ワークショップ【研究会】開催

(年間6回開催、5社・12名参加)

(4) コンサルティング事業(8件)

- ・プロジェクト評価方法の検討支援
- ・情報資産管理のためのリスクマネジメント活動支援
- ・内部統制の定着とレベルアップ支援
- ・I S O 22000維持支援:衛生管理&5Sの推進
食品衛生管理、経営改善、品質向上、工程改善など

9. 「日本経営管理標準(J M S)」推進事業活動

(J M S事業部)

(1) J M S推進機構の活動

1) 理事会

開催日:平成21年6月4日

内 容:平成20年度年間活動報告、平成21年度年間活動計画審議

2) 企画委員会

第一回 開催日:平成21年7月9日

内 容:平成21年度年間活動計画に従い議論

第二回 開催日：平成21年9月17日

内 容：リンナイ㈱にて 分科会形式による現場での事例研究

開催日：平成21年9月25日

内 容：NECアクセステクニカ㈱にて 分科会形式による現場での事例研究

第三回 開催日：平成22年3月10日

内 容：当たり前のこと第2集完成報告

次年度活動企画についての討議

3) 「組織で業績を達成するためのマネジャーの“行動”実践ヒント集

～当たり前のこと実践豆知識第2集」作成と配付（会員中心に1,000部）

750部を販売

(2) JMS評価簡易体験版

1) 評価簡易体験版の開発

JMS-P4「現場管理と改善」、P5「設備保全」、P6「製造品質」の3つの第一分類について、評価基準に基づく評価点の算出と、詳細項目毎のデータ集計を念頭に置いたプログラムを開発

2) 評価データの収集

現在、支援している企業の事業所毎やJMS推進機構会員会社に現状評価を依頼し、基礎データベースの構築

(3) コンサルティング（28社）

JMS事業を拡大すべく、管理間接部門や製造業以外の業種の企業に対しても、JMSおよびトヨタ生産方式（TPS）を柱とした企業変革コンサルティングを実施。

また、北京中産連と行う中国プロジェクトの委嘱コンサルタントの統制とJMSの実施。

- ・重機械メーカー 生産革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 国内・中国海外拠点を含む生産・物流一気通貫革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 全工程後補充生産体制コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 企業体質強化コンサルティング
- ・陶器メーカー 企業体質強化支援活動
- ・化学メーカー 4拠点における生産革新コンサルティング
- ・産業機械メーカー 製造体質強化活動
- ・産業機械メーカー 生産革新コンサルティング
- ・食品メーカー 13事業所における設備生産性向上活動
- ・食品メーカー 生産革新コンサルティング
- ・素材メーカー 7拠点における生産革新支援活動
- ・改善塾
- ・業務改善プロジェクト
- ・JITをベースにした生産革新コンサルティング
- ・試験機メーカー 生産革新コンサルティング
- ・設備生産性向上活動コンサルティング

- ・家電メーカー 生産革新コンサルティング
- ・最短リードタイムの実現に向けたコンサルティング
- ・工程改善推進プロジェクト
- ・業務品質向上活動
- ・間接部門のコストダウン活動
- ・生産革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 国内外12拠点での生産革新支援とそのため設備保全力を身につける保全自主研究会運営活動
- ・運送業における人事・賃金制度改革

(4) 企業内研修

- ・JMS研修
- ・QCサークルリーダー研修
- ・新入社員研修（PDCAとチームワーク力向上）
- ・指導員研修
- ・職場のハラスメント防止研修
- ・物と情報と時間の流れ図作成研修
- ・JITボード研修
- ・PMリーダーシップ研修
- ・標準作業による改善研修

(5) 講演会および公開研修

1) 実践型プログラム

セミナー名	テ ー マ	参加者数
実践型通年プログラム（平成21年4月～平成22年3月）		
JMS管理能力向上プログラム	～逆境の時代を勝ち抜くために～期待に応える部隊長をつくる！	11
実践型プログラム		
モノと情報の流れ図の描き方と活用方法	製造現場における「モノと情報の流れ図」の描き方と活かし方	10
	「モノと情報と時間の流れ図」の描き方と活かし方	11
モノづくりの原点回帰、そして、改革への次なる一手	「標準作業と改善」実践シミュレーション	24

2) JMS公開プログラム

JMSの普及啓蒙を目的に、JMSの理解と実践を促進する機能別セミナーを実施

セミナー名	テ ー マ	参加者数
JMSトップセミナー	今こそ経営体質強化のチャンス	23
JMSトップセミナー	キャッシュフロー経営の質を高め、将来の利益を生む力を見極める今こそ経営体質強化のチャンス	11
JMS変革推進者養成コース (全社推進リーダー向け実践プログラム)	全社推進者にしかできない“核心課題の見極め”と確実な変革遂行への道筋の描き出しにむけて	6
JMS紹介セミナー	モノづくり経営の新たな3つの視点	28
JMS分野別コース①～⑤	開発編/品質編/生産技術編/購買・仕入先管理編/現場管理と改善編	24
JMSで始める間接・固定費部門徹底業務改善	JMSを起点にした間接部門の業務改善アプローチ	17
JMS-P7営業力 「商品企画」「販売企画」「チャネル」強化プログラム	モノづくり経営“キャッシュを生む”マーケティングマネジメント	24
JMS「P-4現場管理と改善」強化プログラム	日常管理から見直す改善活動のススメ	12
JMS流通・サービス編キックオフプログラム	大不況時代、知的資産経営で会社を伸ばせ!	9

3) Back Upプログラム (指導先企業向け勉強会)

セミナー名	テ ー マ	参加者数
改善活動を推進するリーダーシップを学ぶ	「クラシエフーズ㈱福知山工場」訪問会	13

4) その他セミナー

JMSの普及啓蒙を目的に、JMSの理解と実践を促進する機能別セミナーを実施

セミナー名	テ ー マ	参加者数
需要変動に強い設備レイアウトの実現	真の余剰(人・設備)を見抜き、新たなアプローチができる生産技術集団を目指して	10
日本工業大学主催 産業技術記念館&トヨタ工場見学会	トヨタグループの歩みとモノづくり(TPS)を現地現物で学ぶ	18

(5) 北部九州地区営業活動

既存顧客先への定期訪問時に新規営業活動を行うとともに、継続的にセミナーを実施

1) 北部九州地区セミナー

セミナー名	テ ー マ	参加者数
実践型セミナー①～④	J I Tボード演習	13
	トヨタ生産方式とは	7
	ジャスト・イン・タイム (J I T) 体感ゲーム	6
	標準作業票による改善ゲーム	7

2) 他団体主催セミナーへの講師派遣

セミナー名	テ ー マ	参加者数
第19回 西日本食品産業創造展 '09 セミナー	講演「食品メーカーはもっと儲かっていいはず」 ～お菓子メーカーが取り組んだトヨタ式「生産革新事例」～	60

10. メンタルヘルス事業活動

(メンタルヘルスセンター)

企業におけるCSRと法令順守、リスクマネジメント、さらにパフォーマンス向上を目的として、企業のメンタルヘルス体制の導入支援および改善を行う部門として活動を開始。

- ・管理職研修、一般職研修、企業内の担当者の研修を実施
- ・職場アンケートと職場環境改善研修を開発し導入
- ・相談担当者および管理職のための電話相談窓口の開設
- ・新センターの活動内容について案内パンフレット作成とホームページの開設

(1) 企業内研修の実施 (11社)

- ・職場のメンタルヘルス 管理職研修
- ・ハラスメント防止研修
- ・指導員研修
- ・安全大会 講話
- ・階層別コミュニケーション研修
- ・新入社員フォローアップ研修

(2) 職場風土及びストレス調査実施 (3社)

アンケート調査を開発し、企業において実施

- ・アンケートの実施と役員報告会
- ・管理職研修にて、アンケート結果を報告し対策を検討
- ・アンケート結果を受けて管理職の面談を実施

(3) 電話相談窓口年間契約 (1社)

- ・ハラスメント専用電話窓口
- ・相談員向け研修

11. トヨタ流改善支援事業活動

(トヨタ流改善支援室)

(1) 「トヨタ生産方式研究会」事業

本セミナー開講30周年を越え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙していくことを主眼に活動

・研究会概要

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	春 季		秋 季	
	期 間	参加者	期 間	参加者
P A R T I 「改善の進め方」講座 (春季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名 (秋季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名	平成21年 5月13日～ 15日 (3日間)	262名	平成21年 9月16日～ 18日 (3日間)	276名
P A R T II 「作業改善」研修 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 福永 恵一氏 同 部 主査 二之夕裕美氏 同 部 主査 松村 英之氏 (春季) アイシン精機(株)、(株)東海理化 トヨタ紡織(株)、豊田合成(株) (秋季) アイシン精機(株)、(株)デンソー トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)	平成21年 6月7日～ 12日 (6日間)	48名	平成21年 10月18日～ 23日 (6日間)	48名

(2) コンサルティング

T P S、T Q M、T P Mを基本としたトヨタ流の職場運営および改善手法を基本にコンサルティングを推進。T P S本来の目的である原価低減を前面に出し、現在の難局を乗り切るための支援を実施。

また、J O D C (財海外貿易開発協会)、A O T Sからの依頼に基づき、派遣されている専門家に対する支援・アドバイスを実施。

- 1) 製造現場体質改善と強化 (中間管理者育成等) (16社)
- 2) 企業再生プログラム支援 (2社)
- 3) 工場診断・工場建設・工場移設・投資企画支援 (2社)
- 4) 本社機構 (設計・品質保証・生産管理・資材管理・物流他)・事務管理部門支援 (3社)
- 5) 海外プロジェクト支援 (8カ国)
- 6) 企業内研修 (N S K、住友信託銀行 他)

(3) 講演・研修

- 1) 公開研修 (マネジメント研修事業部「新入社員研修技術部門」、J M S事業部「モノづくり原点回帰」 他)

- 2) J I C A、A O T S 委託研修（品質管理、生産管理、T P S 他）

12. マネジメント貢献事業活動

（マネジメント貢献事業部）

(1) マネジメント貢献センター

- 1) 「経営後継者養成アカデミー（J E A）」（修了生258名）

第42期J E Aは、3名の研修生を迎え実施、J E A修了生は累計250名を超え、うち100名以上が先代の経営を引き継ぎ活躍

- 2) コンサルティング

生産革新活動支援に関するコンサルティング

- 3) 企業内研修

階層別研修、行政機関の管理者研修

- 4) 受託事業

「環境パートナーシップ・C L U B（略称：E P O C）」総合事務局を受託

環境パートナーシップ・C L U Bは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となって、循環型経済社会の構築を目指すべく活動（平成12年2月17日設立）

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

<環境パートナーシップ・C L U Bの役員と会員数>

会 長 深谷 紘一氏（㈱デンソー 代表取締役会長）

副会長 松下 雋氏（日本ガイシ㈱ 代表取締役社長）

副会長 川本 隆一氏（㈱I N A X 代表取締役社長）

副会長 佐伯 卓氏（東邦ガス㈱ 代表取締役社長）

副会長 小池 利和氏（ブラザー工業㈱ 代表取締役社長）

副会長 新美 篤志氏（トヨタ自動車㈱ 代表取締役副社長）

副会長 宮池 克人氏（中部電力㈱ 代表取締役副社長執行役員）

総合事務局長 竹内 弘之（㈱中部産業連盟 副会長）

ほか理事12名 監事2名 顧問10名

会員数 275社（者）（平成22年3月末日現在）

(2) 留学生研修センター

「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業（経済産業省受託事業）

日本企業の海外進出に伴い、日本と現地との橋渡しをする能力を持ち、企業のグローバル化促進

の中核となることができる「高度グローバル人材」が産業界より求められている。一方で、12万人を突破した外国人留学生の多くが、卒業後、日本での就職を希望しており、産業界と外国人留学生とを結びつけるプラットフォームの構築が必要である。

本事業では、①ビジネス日本語・日本ビジネス教育事業②インターンシップ事業③就職支援事業④プログラム参加推進事業⑤プロジェクトマネジメント事業等を通じて、外国人留学生が日本企業で活躍するための支援を行う。

その支援の結果として、自らの専門能力を存分に発揮することに加えて、日本企業のグローバル化促進を担うことができる人材を産業界に供給することを主目的とする。

1) 事業実施期間：平成19年～平成22年（4年間）

2) プログラム参加大学

名古屋大学、名古屋工業大学、岐阜大学、金沢大学、富山大学、愛知大学、中京大学、名城大学、南山大学、四日市大学など30大学

3) 参加留学生数

本年度中部地区では、18大学から69名の留学生が参加

4) プログラム実施報告

①ビジネス日本語・日本ビジネス教育事業

ビジネス日本語教育、日本ビジネス教育

②インターンシップ事業

- ・中部地域の各企業において8月～9月に1～2週間インターンシップを実施
- ・約150社のインターンシップ受入協力企業を開拓

③就職支援事業

就職対策講座、履歴書等の添削指導、個別キャリアカウンセリング

④プログラム参加推進事業

大学向け事業説明会、企業向けセミナー、合同企業説明会

⑤プロジェクトマネジメント事業

協議会、コンソーシアム会議

13. マネジメント研修事業活動

(マネジメント研修事業部)

会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る創造性豊かな人材の育成をねらいに、「公開研修事業」や技術革新、グローバル化に対応した「フォーラム」「長期研究会」「海外視察団の編成」、さらに「第25回中産連“創造の船”」を実施。また、企業の様々な課題や要望に合わせた企業内研修、コンサルティングの提案活動を活発に展開。

分野	プロジェクト数	社数	参加者数
1. 公開研修	269	1,853	2,566
2. 公開研修(浜松開催)	25	93	124
3. 研究会	7	69	82
フォーラム	2	192	277
4. 海外受託研修	8	89	114
5. 海外洋上研修	1	99	112
6. 企業内研修	140		
コンサルティング	29		
7. 中国プロジェクト	6		
8. 受託事業	3		
合計	490	2,395社	3,275名

(1) 公開研修事業(階層別・分野別 269コース、1,853社、2,566名)

1) 階層別研修(57コース、391社、767名)

取締役研修、経営幹部研修、管理者・監督者・中堅社員の基本研修、製造系階層別研修、新入社員、接遇・ビジネスマナー研修、現場リーダー実践研修、現場リーダーの時間活用術、秘書研修等

2) 生産部門研修(67コース、407社、510名)

5S実践セミナー、切削加工、難削材の削り方と切削工具の最新動向、現場の電気・PC、生産管理の基礎、単価交渉・値引き交渉、即戦購買力、購買業務とコストダウン、購買外注担当者の基本、購買折衝の進め方、購買部課長の実務、外観検査、検査業務の取り組み、外注品質向上対策、QC7つ道具の活用法、品質管理、総合生産管理システム、削り屋、板金プレス、現場の油圧・空圧、オペレータのための設備保全の基礎、IE手法による現場改善、多能工育成、「技術・技能マップ」づくり、工場事務間接部門のスリム化とムダ取り、設備の日常点検と管理、ボカミス撲滅、ビデオで学ぶ動作研究と作業分析、ムダ取り改善力向上、小集団活動、新・VEの基本実践、VEスペシャリスト養成講座等

3) 営業部門研修(23コース、167社、209名)

営業マネジャー、中堅・新任営業マン、営業初心者、営業アシスタント実践、提案型研修、商談話術、セールストーク、マーケティング戦略、受注を勝ち取る価格設定、CS力アップ、クレーム対応、折衝力・交渉力、営業ノウハウ等

- 4) 経理部門研修 (19コース、132社、145名)
 経理基礎実務、原価計算と原価管理、原価のしくみと業務への活用、原価情報作成、決算書、年末調整、税務入門、簿記の基礎、国際税務、法人税、決算公告等
 - 5) 人事・総務・法務部門研修 (4コース、23社、27名)
 業績向上の人事考課、製造業の人事戦略、労務管理等
 - 6) 物流部門研修 (7コース、41社、44名)
 物流担当者の役割と実務、物流アウトソーシングと3PL活用、実地棚卸、物流コスト削減、物流諸料金の決め方等
 - 7) ビジネススキル (61コース、551社、696名)
 プラス思考、コーチング、製造系コーチング、コミュニケーション、メンタルヘルス、メンタルマネジメント、社労士養成研修、タイムマネジメント、プレゼンテーション、秘書研修、フォローシップ (部下力)、チームビルディング、ロジカルシンキング、企画書作成術、ほめ方・叱り方、企画の達人、聴き上手、決め事 (ルール) を守らせる、図解の技術、契約書の基礎知識と実践、人を育てるハウレンソウ徹底の進め方、本番力を高めるインプロ、バランススコアカード実践、ファシリテーション、管理監督者/若手・中堅社員異業種交流研修、働きやすい職場、女性の活躍、パソコン内ファイルの整理整頓、PDCA等
 - 8) 技術開発部門研修 (13コース、72社、85名)
 開発設計の原価改善、製図技能教室、図面の見方・読み方、設計製図、デザインレビュー、検図、商品企画力・開発力、設計原価低減の進め方、技術者の文章力向上、議事録・Eメール作成法等
 - 9) 貿易部門研修 (3コース、18社、18名)
 はじめて学ぶ貿易実務、貿易実務 (基礎知識編)、交渉と契約の進め方
 - 10) 食品製造部門研修 (14コース、49社、60名)
 食中毒対策、食品衛生、異物混入、5S+殺菌・消毒、PRPとSSOP、講演会等
 - 11) コンサルティング紹介セミナー (1コース、2社、5名)
 マーケティング
- (2) 浜松開催 公開研修 (階層別・分野別 25コース、93社、124名)
- 1) 階層別研修 (3コース、20社、22名)
 管理者研修、中堅社員研修等
 - 2) 生産部門研修 (20コース、67社、94名)
 5S関連セミナー、生産管理の基礎、日常保全、折衝交渉力、現場の見える化、電気電子の基本、品質管理等
 - 3) 技術開発部門研修 (2コース、6社、8名)
 図面の見方読み方等
- (3) 研究会・フォーラム (9コース、261社、359名)
- 1) 研究会 (7コース、69社、82名)
 モノづくり研究会 (全7回)
 産業技術研究会 (全6回)
 ヤング・エグゼクティブ・フォーラム (全12回)

モノづくりと人づくり 心の伝承塾（経営者コース、管理者コース）

2) フォーラム (2コース、192社、277名)

タイトル	テーマ (内容)	開催日	講師名	参加者数
日経ビジネス共催 マネジメントフォー ラム	再び“モノづくり” が日本を救う!!	平成21年9月7日	トヨタ自動車(株) 顧問・技監 池淵 浩介氏 (中産連 会長) 住信基礎研究所 主席研究員 伊藤 洋一氏 他2名	149
モノづくり応援フォー ラム	頑張る日本の製造業!!	平成22年3月19日	トヨタ自動車(株) 常務役員 吉貴 寛良氏 他10名	128

(4) 海外受託研修 (8コース、89社、114名)

中国製造業企業管理技術研修団

中国中小企業管理研修団

(5) 海外洋上研修 (1コース、99社、112名)

第25回 創造の船

期 間：平成21年10月25日～10月31日 (7日間)

訪問都市：天津、北京、上海

(6) 企業内研修・コンサルティング事業 (169プロジェクト)

1) 企業内研修 (140プロジェクト)

生産・製造、人事管理、営業、階層別研修、新入社員、接遇・マナー、スキルアップ、コンプライアンス、品質管理、T W I、メンタルヘルス等

2) コンサルティング (29プロジェクト)

生産・製造、スキルアップ、人事組織等

(7) 中国プロジェクト (6プロジェクト)

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民营企业に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

(8) 受託事業

1) (株)日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部の業務受託

V E 研修、中部建設 V E 研究会、原価企画と V E 研究会、V E 効率化研究会、中部 V E 大会、中部 V E 懇話会その他を実施

2) 日本設備管理学会の本部業務受託

総会・シンポジウム、大会の実施、学会誌編集

3) 日本設備管理学会 東海支部の業務受託

総会・シンポジウムの実施

14. 会員事業活動

(会員事業部)

会員各位に喜ばれるサービス事業の推進を主眼として、活発に事業を展開するとともに未加入企業にも当連盟の活動をご理解いただき、ご入会をいただくよう会勢拡大に努めた。また、地域における認知度向上と事業の紹介を目的としたPRイベントを開催。

(1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行 (別表2参照)

新しいマネジメントの提言、経営戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ている。

毎号、テーマを絞った特集方式による編集で、会員企業の関心の高いテーマを特集企画としてとりあげた。

(2) 会員懇話会 (無料講演会) (別表3参照)

タイムリーで話題性の高いテーマを毎回とりあげ開催

(3) 経営法務相談室 (無料) (別表4参照)

経営全般に関する無料相談室と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室にはこれまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、本年度も経営課題・問題解決の窓口を開設した

(4) 中産連ビデオサービス (別表5参照)

会員企業向けのメンバー登録制によるビデオギャラリーを開設、企業内研修等に活用した

(5) 日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部 (別表6参照)

(6) 日本広報学会 中部部会 (別表7参照)

(7) 中産連ホームページ

団体概要の紹介のほか、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業へのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせに対応

(8) 評議員懇談会・交流会

(9) 次世代自動車シンポジウム (別表8参照)

(10) 中産連人材育成フォーラム (別表9参照)

創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成を提案し、平成22年度 研修事業計画を説明

(11) マネジメント小冊子 (無料) の発行

- ・「平成21年度中産連会員懇話会抄録集」
- ・「潮流Ⅷ」

(12) 中産連案内パンフレット

(13) 公開研修会案内冊子 (無料) の発行

別表2(1) 平成21年度上期プログラムレス主要記事

月号	表紙	潮	流	特集	テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
4月号	大同特殊鋼㈱ 「集光式太陽光発電 プラント完成」	日本福祉大学 総長 大沢 勝氏 『「笑い」の介護予防』	日本福祉大学 総長 大沢 勝氏 『「笑い」の介護予防』	①歴史的大転換期を乗り越えて 平成21年度(2009年)「中産連事業方針と計画」概要 中産連 副会長 竹内 弘之 によるコストダウン活動の進め方 ②VM (Visual Management) によるコストダウン目標が達成できた一 人が育ち、改善が進み、コストダウン目標が達成できた一 人 中産連 専務理事 五十嵐 瞭	①歴史的な大転換期を乗り越えて 平成21年度(2009年)「中産連事業方針と計画」概要 中産連 副会長 竹内 弘之 によるコストダウン活動の進め方 ②VM (Visual Management) によるコストダウン目標が達成できた一 人が育ち、改善が進み、コストダウン目標が達成できた一 人 中産連 専務理事 五十嵐 瞭	①緊急企画・ワークショップ導入の現状と課題 朝日日本生産性本部 社会労働部 課長 内野 亘氏 ②リ・スタート時までに社員とともに企業力を強化化する “今を乗り切るものづくり企業のマネジメント思考” 中産連 長野コンサルタント 中島 俊宏	第486回 「VEと経営」 ～企業価値創造と企業の社会的責任～ オムロン㈱ 相談役 立石 信雄氏	コラム「大道無門」 「39年目のアパリスティス」 東大手法律事務所 弁護士 鮎澤 多俊氏
5月号	太平洋工業㈱ 『太平洋里山の森』 活動スタート」	アスモ㈱ 取締役社長 花井 敏郎氏 「車の中のオール電化」	アスモ㈱ 取締役社長 花井 敏郎氏 「車の中のオール電化」	①緊急企画・ワークショップ導入の現状と課題 朝日日本生産性本部 社会労働部 課長 内野 亘氏 ②リ・スタート時までに社員とともに企業力を強化化する “今を乗り切るものづくり企業のマネジメント思考” 中産連 長野コンサルタント 中島 俊宏	①緊急企画・ワークショップ導入の現状と課題 朝日日本生産性本部 社会労働部 課長 内野 亘氏 ②リ・スタート時までに社員とともに企業力を強化化する “今を乗り切るものづくり企業のマネジメント思考” 中産連 長野コンサルタント 中島 俊宏	特別講座 経営幹部・次世代リーダーのための日英 知識で学ぶドローッカード 「マネジメントの役割」 ものづくり大学 名誉教授、ドローカード学会 代表 上田 惇生氏 「私とドローカード先生」 中産連 副会長 竹内 弘之 コラム「大道無門」 「セブ島に生きる伝統日本製品と弁護士と」 東大手法律事務所 弁護士 鮎澤 多俊氏	特別講座 経営幹部・次世代リーダーのための日英 知識で学ぶドローッカード 「マネジメントの役割」 ものづくり大学 名誉教授、ドローカード学会 代表 上田 惇生氏 「私とドローカード先生」 中産連 副会長 竹内 弘之 コラム「大道無門」 「セブ島に生きる伝統日本製品と弁護士と」 東大手法律事務所 弁護士 鮎澤 多俊氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第1回》伊勢神宮：式年遷宮・新しく 生まれ変わることで永遠をめざす コラム「大道無門」 「ゲートキーパー法 海を渡る」 東大手法律事務所 弁護士 鮎澤 多俊氏
6月号	学南山学園 「南山大学・人類学 博物館」	柳中部経済新聞社 代表取締役 加藤 渉氏 「不況に克つヒント」	柳中部経済新聞社 代表取締役 加藤 渉氏 「不況に克つヒント」	①不況と職場のメンタルヘルス—現代のうつ気質を題材に— 東京メタルヘルス 所長 武藤 清栄氏 ②「インドのものづくりリーダー 2年間の成果」 中産連 参与・主席コンサルタント 古橋 武之	①不況と職場のメンタルヘルス—現代のうつ気質を題材に— 東京メタルヘルス 所長 武藤 清栄氏 ②「インドのものづくりリーダー 2年間の成果」 中産連 参与・主席コンサルタント 古橋 武之	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第2回》柳安藤七宝店：130年の伝統を 受け継ぐ覚悟と挑戦 コラム「大道無門」 「物語不在の時代をどう捉えるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第2回》柳安藤七宝店：130年の伝統を 受け継ぐ覚悟と挑戦 コラム「大道無門」 「物語不在の時代をどう捉えるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	コラム「大道無門」 「新興の時代をどう生きるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏
7月号	㈱ミドリ 「カフェ『茶縁』オー ブン」	日本設備管理学会 会長 久義氏 早稲田大学 教授 松山 久義氏 『「予防保全」を超えて 進歩する設備管理』	日本設備管理学会 会長 久義氏 早稲田大学 教授 松山 久義氏 『「予防保全」を超えて 進歩する設備管理』	①感動の経営～人々に愛される会社の秘密～ 法政大学大学院 政策創造研究科 教授 坂本 光司氏 ②新型インフルエンザの第二波、第三波への備え ～リテラシー、アノマリー、BCP～ 国際戦略デザイン研究所 代表取締役CEO 林 志行氏 ③平成21年度中部産業連盟通年総会	①感動の経営～人々に愛される会社の秘密～ 法政大学大学院 政策創造研究科 教授 坂本 光司氏 ②新型インフルエンザの第二波、第三波への備え ～リテラシー、アノマリー、BCP～ 国際戦略デザイン研究所 代表取締役CEO 林 志行氏 ③平成21年度中部産業連盟通年総会	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第3回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第3回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	コラム「大道無門」 「新興の時代をどう生きるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏
8月号	㈱鶴弥 「瓦一体系ソーラー パネル対応瓦を開発」	愛知製鋼㈱ 取締役会長 森田 章義氏 「二一世紀の曲り角で」	愛知製鋼㈱ 取締役会長 森田 章義氏 「二一世紀の曲り角で」	①バブル経済はなぜ発生し崩壊するのか～繰り返される成長と崩壊の歴史～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②第60回全国能率大会・経済産業省経済産業政策局長賞受賞 中小企業におけるLCA (Life Cycle Assessment) 支援 ～製品環境性能の見える化支援～ 中産連 生産革新事業部 第三コンサルタント 南山 賢吾	①バブル経済はなぜ発生し崩壊するのか～繰り返される成長と崩壊の歴史～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②第60回全国能率大会・経済産業省経済産業政策局長賞受賞 中小企業におけるLCA (Life Cycle Assessment) 支援 ～製品環境性能の見える化支援～ 中産連 生産革新事業部 第三コンサルタント 南山 賢吾	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第4回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第4回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	コラム「大道無門」 「新興の時代をどう生きるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏
9月号	ヤマザシヤ 「Fenetta (エネッ タ) '09 開催」	東陽倉庫㈱ 代表取締役社長 白石 好孝氏 「蔵のはたらき」	東陽倉庫㈱ 代表取締役社長 白石 好孝氏 「蔵のはたらき」	①自社のビジネスを確立し崩壊するのから繰り返される成長と崩壊の歴史～ 特許業務法人オランダ国際特許事務所 所長・弁護士 岡田 誠氏 ②次世代自動車シンポジウム「自動車産業の今後」(講演抄録) 第一部・基調講演 2030年に向けた自動車技術 第二部・自動車研究部 プロジェクト開発室 技監 堀 政彦氏 第三部・パナデルイスカッション 自動車産業の変化への取り組み トヨタ自動車㈱ 第2技術開発本部 HVSシステム開発統括部 企画総括室 主査 朝倉 吉隆氏 スズキ㈱ 四輪技術本部 第二パワートレイン担当 常務役員 青山 市三氏 ㈱本田技術研究所 四輪 R & D センター 主席研究員・長弘研究室 技監 蕨一氏 ㈱日本自動車研究所 プロジェクト開発室 技監 政彦氏	①自社のビジネスを確立し崩壊するのから繰り返される成長と崩壊の歴史～ 特許業務法人オランダ国際特許事務所 所長・弁護士 岡田 誠氏 ②次世代自動車シンポジウム「自動車産業の今後」(講演抄録) 第一部・基調講演 2030年に向けた自動車技術 第二部・自動車研究部 プロジェクト開発室 技監 堀 政彦氏 第三部・パナデルイスカッション 自動車産業の変化への取り組み トヨタ自動車㈱ 第2技術開発本部 HVSシステム開発統括部 企画総括室 主査 朝倉 吉隆氏 スズキ㈱ 四輪技術本部 第二パワートレイン担当 常務役員 青山 市三氏 ㈱本田技術研究所 四輪 R & D センター 主席研究員・長弘研究室 技監 蕨一氏 ㈱日本自動車研究所 プロジェクト開発室 技監 政彦氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第5回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第5回》旭サナック㈱：OFF-ITの技 能塾で将来の現場リーダー養成へ コラム「大道無門」 「虚構の時代のあとに来るもの」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏	コラム「大道無門」 「新興の時代をどう生きるか」 日本放送協会 (NHK) 解説委員 大島 春行氏

別表2(2) 平成21年度下期ブログレス主要記事

月号	表紙	潮	流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他の
10月号	長屋印刷株 「新社屋完成」	盛田エンタプライズ株 代表取締役社長 盛田 宏氏 「不況の今こそチャンス」	盛田エンタプライズ株 代表取締役社長 盛田 宏氏 「不況の今こそチャンス」	①中国の発展メカニズムについての分析 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏 国際協力機構 審査部 信用力審査課 エコノミスト 唐 牧氏 ②低成長時代における効率的 B to B マーケティング戦略 名古屋文理大学 情報文化学部 PR 学科 准教授・学部長 栗林 芳彦氏	真氏 牧氏 学部長 芳彦氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第4回》ブラザー工業株：マシンナリー・ アソド・ソリューションカンパニー：技 術者の心に「火をつけ」、ものづくりの 本質を伝える コラム「大道無門」 「ヒトづくり」への「ヒトづくり」を コラム「大道無門」 静岡文化芸術大学 副学長 上野 征洋氏	
11月号	東邦ガス株 「No.2地下式LNG タンク完成」	日本空調サービスマ 代表取締役社長 生駒 譲三氏 「『エコ』って何に!」	①戦後最大の不況を乗り越え発展する決め手 V.M (ビジョメカニクス) による管理間接部門の労働生 産性向上の進め方 中産連 東京コンサルティング部 部長 小坂 信之 ②メンタルヘルス・マネジメント ～根本的アプローチで企業が取り組むべきこと～ 中産連 メンタルヘルス・マネジメントセンター 杉藤 里美	第491回 「なぜ、ムダは発生するのか」 ～渋滞学からみたムダ発生メカニクス ム～ 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西成 活裕氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第5回》星野楽器株：メーカーとして 進化しながらコアな技能を伝承する コラム「大道無門」 「高まるリスク、企業文化の点検を」 静岡文化芸術大学 副学長 上野 征洋氏		
12月号	中部電力株 「e-生活情報セン ターデザインの間・ 1st Anniversary」	学南山学園 理事長 ハンス ユーガン・マルクス氏 「創業に忠実な刷新」	①2010年景況予測と企業動向調査 ～中産連役員43氏の予測～ (中産連役員アンケート集計結果より) 中産連 副会長 竹内 弘之・コンサルタント 加藤 久仁明 ②2009年マネジメント課題総括 中産連 副会長 竹内 弘之・理事 JMS 事業部長 佐々木 元	第492回 「日本発の環境・新エネルギー革命が世 界を変える」 ～新素材王国ニッポンが躍進する～ ㈱産業タイムズ社 専務取締役編集局長 泉谷 渉氏	コラム「大道無門」 「これからの『優良企業』とは?」 静岡文化芸術大学 副学長 上野 征洋氏		
1月号	㈱大垣共立銀行 「『コンビニプラザ 半田』開設」	中産連会長年頭ご挨拶 中産連 会長 池淵 浩介 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 直嶋 正行氏	①2010年新春インタビュー 「リーマン・ショック後の世界へ巨大バブルの崩壊から学んだもの～」 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 皆川 正氏 ②2010年の東海経済：展望と課題 日本銀行 名古屋支店長 前田 純一氏	第493回 「技術と技能の融合で切り拓く未来」 ㈱テンスー 取締役会長 深谷 紘一氏	コラム「大道無門」 「医師不足、看護師不足なのに国際救済 に派遣?」 名古屋第二赤十字病院 院長 石川 清氏		
2月号	㈱名工建設 「枇杷島新社屋完成」	メタプロトコル株 代表取締役 安藤 真介氏 「ユビキタス製品はどこ に向かうか」	①新時代経営・環境経営を考える ㈱環境経営戦略総研 取締役社長 村井 哲之氏 ②なぜ、黒字倒産は起こるのか ～経営を守るキヤッシュフロー～ 中産連 人事・組織開発事業部 第一コンサルティング部 部長 松井 茂	第494回 「技術と技能の融合で切り拓く未来」 ㈱テンスー 取締役会長 深谷 紘一氏	人材育成フォーラム基調講演抄録 「プロジェクトXで出会った人々～逆境 に負けない挑戦者たちのドラマ～」 日本放送協会 (NHK) アナウンサー 国井 雅比古氏 コラム「大道無門」 「成熟した病院」 名古屋第二赤十字病院 院長 石川 清氏		
3月号	鳴海製陶株 「DIECI GINZA (ダイエチ ギンザ) オープン」	㈱名鉄百貨店 取締役社長 神野 重行氏 「地域を磨く」	①コストダウンは設計から作り込む ～開発設計段階におけるコスト低減7つのヒント～ ㈱MEマネジメントサービス 業務取締役 小川 正樹氏 ②コンピュータウウィルスの脅威から情報を守る ～情報セキュリティ対策の現状と今後～ ㈱ディアイティ セキュリティサービス事業部 副事業部長 河野 省二氏	第494回 「2010年の景気を読む」 ～谷底からのV字回復はあり得るのか～ ㈱日本総合研究所 副理事長 高橋 進氏	企業訪問シリーズ「伝える心 受け継ぐ力」 《第6回》㈱豊田自動織機：技能伝承の 基本は「人づくり」にある コラム「大道無門」 「未だ明かりの見えない救急医療」 名古屋第二赤十字病院 院長 石川 清氏		

別表3 会員懇話会

開催日	テ マ	講 師	参加者数
4/23 第487回	日本発の世界産業「テレビゲーム」 任天堂ヒット商品の秘密と法則	サイトウ・アキヒロ氏 (立命館大学 映像学部 教授)	116
5/26 第488回	松下幸之助 不況克服の心得十カ条 ～100年に一度の世界不況をいかに乗り越えるか～	岩井 虔氏 (元PHP研究所 専務取締役、PHP 総合研究所 参与)	129
6/17 第489回	歴史に学ぶ日本の将来 ～「逆説の日本史(週刊ポスト連載800回超え)」の著者が語る～	井沢 元彦氏 (作家)	159
7/30 第490回	よく笑う人はなぜ健康なのか ～笑う会社ほど伸びる!?!～	伊藤 一輔氏 (国立病院機構函館病院 副院長、日本 笑い学会 理事・北海道支部長)	102
9/25 第491回	なぜ、ムダは発生するのか ～渋滞学からみたムダ発生メカニズム～	西成 活裕氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 教授)	132
10/21 第492回	日本発の環境・新エネルギー革命が世界を 変える ～新素材王国ニッポンが躍進する～	泉谷 渉氏 (株産業タイムズ社 専務取締役編集局 長)	110
11/4 第493回	技術と技能の融合で切り拓く未来	深谷 紘一氏 (株デンソー 取締役会長)	124
1/19 第494回	2010年の景気を読む ～谷底からのV字回復はあり得るのか～	高橋 進氏 (株日本総合研究所 副理事長)	186
2/15 第495回	技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるの か ～画期的な新製品が惨敗する理由～	妹尾 堅一郎氏 (東京大学 特任教授)	199
3/24 第496回	経営とVE ～VE5原則と私の業務改善～	木津 広美氏 (株ファインズ 代表取締役)	152

別表4 法律・経営相談室(無料)

月 日	申込者	内 容	アドバイザー
7/13	A社	仕入れ先と債権譲渡登記された会社から二重請求をされたが、 どちらに支払えばよいのか。また、そのリスクについて。	北村 明美氏 (弁護士)

別表5 中産連ビデオサービス

新規登録会員数	2社
会員数	162社
ビデオ貸出総数	14本
ビデオ貸出件数	5社

別表6 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
4/21	経営改革は意識改革	谷川 静男氏 (株アルバック 技術開発部 顧問)	17
5/20	「易経」 一日一言	竹村 亜希子氏 (有竹村 代表)	16
6/16	今、企業は何をやるべきか ～先人に学ぶ～	竹内 弘之 (社中部産業連盟 副会長)	18
7/21	混沌の国際情勢の中で、日本は如何に生きるか	真田 幸光氏 (愛知淑徳大学 ビジネス学部 教授)	18
8/18	自社のビジネスを優位に進めて、勝ち組になるための知財戦略	恩田 誠氏 (オンダ国際特許事務所 所長)	14
9/15	裁判員制度の現状 ～動き出した裁判員制度～	堀西 良美氏 (高橋・間瀬法律事務所 弁護士)	13
10/21	日本発の環境・新エネルギー革命が世界を変える ～新素材王国ニッポンが躍進する～	泉谷 渉氏 (株産業タイムズ社 専務取締役編集局長)	14
11/17	デンソースピリットによる人材活性化戦略 ～社員一人ひとりの共有を通じて～	坂元 邦晴氏 (株デンソー 人事部人材育成室 デンソースピリット推進グループ主任部員 課長格)	18
12/15	直江兼統に学ぶ経営	北見 昌朗氏 (北見式賃金研究所 所長)	15
1/12	(株)豊田自動織機ものづくりとひとづくり	磯谷 智生氏 (株豊田自動織機 顧問)	19
2/16	司会業から学ぶスピーチ術 ～苦しい時代を乗り切る笑顔と言葉～	名倉 えりこ氏 (司会、表情筋講師)	14
3/16	「企業の社会的責任」とオムロンの取り組み	渋谷 文彦氏 (オムロン(株) 名古屋事業所 所長)	18

別表7 日本広報学会 中部部会

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
12/8	第20回中部広報塾 講演会： ムラタセイサク君へ至る道 － B to B－ 企業の長期 C C (Corporate Communication) 戦略－ ～株式会社村田製作所の事例に学ぶ～	大島 幸男氏 (株)村田製作所 広報部 部長)	22
3/2	広報シンポジウム 経営組織の基幹メディア、社内報を考 える 講演会： 組織文化づくりのための社内報の役割 パネルディスカッション： 社内報担当として、こう制作に取り組 んでいます！	出口 将人氏 (名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授) ●パネリスト ブラザー工業株 (株) I N A X (株) ミツカングループ本社 名古屋鉄道株 東邦ガス株 ※各社内報制作担当者 ●ファシリテータ 出口 将人氏 (名古屋市立大学大学院 経済学研究 科 准教授) ●モデレータ 川北 眞紀子氏 (豊橋創造大学 情報ビジネス学部 准教授)	52

別表8 次世代自動車シンポジウム自動車産業の今後

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
7/10	基調講演： 2030年に向けた自動車技術 パネルディスカッション： 自動車産業の変化への取り組み	堀 政彦氏 (財)日本自動車研究所 プロジェクト開 発室 技監) 朝倉 吉隆氏 (トヨタ自動車株) 第2技術開発本部 HVシステム開発統括部 企画総括室 主査) 青山 市三氏 (スズキ株) 常務役員 四輪技術本部 第二パワートレイン担当) 長弘 憲一氏 (株)本田技術研究所 四輪開発センター 主席研究員 長弘研究室 室長) 堀 政彦氏 (財)日本自動車研究所 プロジェクト開 発室 技監)	409

別表9 中産連人材育成フォーラム

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
12/10	プロジェクトXで出会った人々 ～逆境に負けない挑戦者たちのドラマ～ Credo～我が信条 ジョンソンエンドジョンソンにおける人 材育成	国井 雅比古氏 (NHKアナウンサー) 堀尾 嘉裕氏 (日本クレド(株) 最高顧問)	307

15. 役・職員の対外的協力活動

竹内 弘之

(社)全日本能率連盟副会長
 経済産業省関係公益法人厚生年金基金理事・代議員
 愛知工業大学経営学部特任教授
 JMS推進機構専務理事
 環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長
 (財)人工知能研究振興財団監事
 東海工学教育協会監事
 (財)科学技術交流財団中小企業企画委員会委員
 (社)科学技術と経済の会運営委員会委員
 平成クラブ顧問
 (財)中部電気保安協会評議員
 BPIA（ビジネスプロセス革新協議会）副会長
 特定非営利活動法人NPO新産業創造研究会理事
 日本ニュービジネス協議会代議員
 中部ニュービジネス協議会理事
 なごや環境大学実行委員会委員
 (学)日本福祉大学評議員
 とくしま経営塾「平成長久手館」運営会議顧問
 (財)永井科学技術財団評議員
 (財)内藤科学技術振興財団評議員
 中部運輸局 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議委員
 愛知環境賞選考委員会委員
 愛知ブランド評価委員会委員
 名古屋大学大学院経済学研究科外部評価（社会的評価）委員会委員

五十嵐 瞭

(社)全日本能率連盟全国能率大会論文委員会委員
 (社)全日本能率連盟マネジメント関係資格称号自主規制審査委員会委員

清水 益文

愛知県中小企業振興公社委嘱診断員

(社)全日本能率連盟M C 認定制度審査会制度委員会委員

(社)名古屋工業会監事

佐々木 元

名城大学非常勤講師

石原 聖治

椋山女学園大学非常勤講師

柘植 吉則

椋山女学園大学非常勤講師

名古屋工業大学非常勤講師

山崎 康夫

東京造形大学非常勤講師

永見 保幸

専門団体連絡協議会委員

(社)全日本能率連盟組織委員会委員

寒河江 克昌

(社)全日本能率連盟 全国能率大会企画委員会委員

Ⅲ. 業 務 報 告

1. 会 勢

平成22年3月末日現在の会員数は775社（入会18社、退会31社）である。

2. 会 議

(1) 総会

平成21年度通常総会

開 催 日 平成21年6月17日(水) 14時～15時10分

開催場所 名古屋東急ホテル（3階 バロックの間）

出 席 531会員

議 件 i 議決事項

- (1) 平成20年度事業報告および収支決算書類承認の件
- (2) 平成21年度事業計画および収支予算審議決定の件
- (3) 平成21年度理事選任（交替）の件
- (4) 平成21年度評議員選任（交替）の件

ii 報告事項

(2) 理事会

第258回理事会

開 催 日 平成21年5月21日(木) 13時～14時5分

開催場所 ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 松竹の間）

出 席 理事45名、監事1名、顧問1名

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成21年度通常総会開催日時および場所決定の件
- (2) 上記総会に提出すべき下記議件審議の件
 - 1) 平成20年度事業報告および収支決算案に関する件
 - 2) 平成21年度理事選任（交替）に関する件
 - 3) 平成21年度評議員選任（交替）に関する件
- (3) 平成21年度参与委嘱の件
- (4) 平成20年度下期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

- (1) 公益法人制度改革への取り組みの件
- (2) その他

臨時理事会

開催日 平成21年6月17日(水) 15時10分～15時25分
開催場所 名古屋東急ホテル (3階 ゴシックの間)
出席 理事45名、監事1名
議件 議決事項
(1) 平成21年度常任理事互選の件
(2) 常勤の役員の報酬支給同意の件

第259回理事会

開催日 平成21年11月16日(月) 13時～13時45分
開催場所 名古屋観光ホテル (3階 桂の間)
出席 理事45名、監事1名
(中部経済産業局より地域経済課長臨席)
議件 i 議決事項
(1) 公益法人制度改革検討委員会設置と委員選任の件
(2) 常勤の理事の退職慰労金支給同意の件
ii 承認事項
平成21年度上期新規入会会員の承認を求める件
iii 報告事項
(1) 平成21年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件
(2) その他

第260回理事会

開催日 平成22年3月19日(金) 13時20分～14時20分
開催場所 ウェスティンナゴヤキャッスル (3階 松竹の間)
出席 理事45名、監事1名
(中部経済産業局より地域経済課長臨席)
議件 i 議決事項
平成22年度事業計画および収支予算案の件
ii 承認事項
就業規則一部改正の件
iii 報告事項
(1) 新法人移行に関する公益法人制度改革検討委員会答申の件
(2) その他

(3) 公益法人制度改革検討委員会

第1回公益法人制度改革検討委員会

開催日 平成21年11月16日(月) 14時～15時
開催場所 名古屋観光ホテル (3階 桂の間)
出席 委員9名 (欠席1名)

議 件 検討事項

法人形態の選択

第2回公益法人制度改革検討委員会

開 催 日 平成22年2月24日(水) 12時30分～14時

開催場所 中産連ビル（本館）（3階 3B集会室）

出 席 委員10名、会長池淵浩介

議 件 検討事項

組織運営のあり方

第3回公益法人制度改革検討委員会

開 催 日 平成22年3月19日(金) 12時30分～13時

開催場所 ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 萩の間）

出 席 委員10名

議 件 検討事項

新法人移行に関する公益法人制度改革検討委員会最終（案）審議と答申の件

3. 庶 務

(1) 主務官庁への報告

- 1) 平成21年4月28日付経済産業大臣宛、登記事項変更登記完了届（理事変更）の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・ 辞任理事名簿
 - ・ 登記簿謄本
- 2) 平成21年6月30日付経済産業大臣宛、平成20年度事業報告書及び収支決算書並びに平成21年度事業計画書及び収支予算書の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・ 平成20年度事業報告書
 - ・ 平成20年度収支決算書及び財産目録
 - ・ 平成21年度事業計画書
 - ・ 平成21年度収支予算書
 - ・ 総会議事録謄本
 - ・ 当該事業年度末の社員名簿
- 3) 平成21年7月21日付経済産業大臣宛、理事変更登記完了届の提出について、下記書類を添えて報告した。
 - ・ 理事新旧名簿
 - ・ 理事就任承諾書（写）、略歴書（写）
 - ・ 登記簿謄本（理事変更）
 - ・ 総会議事録謄本

(2) 登記事項

- 1) 平成21年4月14日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。

2) 平成21年7月8日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。

(3) 職員の状況

平成22年3月末日現在の正職員は男子104名、女子35名の合計139名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・ J E A 経営研究クラブ (J E C)
- ・ 経営企画士会 (社) 全日本能率連盟登録)
- ・ (社) 日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部
- ・ 日本設備管理学会 本部・東海支部
- ・ 日本経営近代化協会 (S A M) 名古屋支部
- ・ 日本広報学会 中部部会

(2) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている14公益法人(機関)で組織している専門団体連絡協議会(略称・専団連)のうち、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。